

## 第2学年 外国語活動学習指導案

平成30年6月 20日(水) 第5校時

2年3組 21名

2年3組教室

指導者 HRT 南雲 美由紀

ALT Madeleine

### 1. 単元名

「数であそぼう ぼく・わたしのモンスター」

### 2. 単元について

#### (1) 単元観

本単元の「数であそぼう」では、1から15まで数字を英語で扱う。数字の英語表現は既に日常生活の中で耳にしていると思われ、児童にとって親しみやすい題材であると考えられる。児童は第1学年では10までの数字、顔のパーツなどの英語表現に親しんでいる。そこで本単元では、歌やチャンツなどを通して、英語のリズムによって15までの英語に慣れ親しむことができるように活動を行う。既習事項である顔のパーツと15までの数表現を組み合わせ、友だちとコミュニケーションをとりながら、グループで「ぼく・わたしのモンスター」を造り上げる活動を設定した。この活動を通して、友だちと英語でコミュニケーションを図り、1つのもの「モンスター」を誕生させることで、児童に達成感を味わわせることができると考える。また、友だちに伝える楽しさを味わわせるために、しっかり聞き取る姿勢を育むことも意識しながら活動に取り組んでいく。自分が見た絵をその絵を見ていない相手に説明するという言語活動は国語科の「ことばで絵をつたえよう」で学習している。また、数表現の学習は、第3学年で扱う **Let's Try 1 Unit 2 "How many ~?"** につながる学習である。

#### (2) 児童観

本学級の児童は、4月より英語の歌を毎朝歌って英語の音やリズム、ジェスチャーをつけて表現することに慣れ親しんでいる。また、5月より外国語活動を始め、**Madeleine** 先生との学習はまだ2回と少ないが、どの児童も外国語活動の時間を楽しみにしていると思われる。前回の振り返りカードには、「ミニオンを数えることが楽しかったです。」「15までの英語の言い方がわかって嬉しいです。」「習った英語を使ってみたいです。」「カウント・アップゲーム」をして、数え方がわかるようになりました。」と、興味をもって取り組みたい気持ちや楽しみにしている気持ちがたくさん書かれていた。

5月に集計した外国語活動のアンケートでは、「外国語活動が好き」と100%の児童が答えており、どの児童も英語を楽しみにしていると考えられる。けれども、「友だちと英語で活動することが好きです」と95%の児童が答えており、英語を聞いたり、一斉に声に出したりすることに抵抗は少ないと思われるが、友だちとコミュニケーションの手段の一つとして英語を扱うことには、少し不安を持っている子どももいる。

#### (3) 指導観

本単元は、2時間の構成とした。

第1時では、「ミニオンをさがせ」の活動で、10までの数表現を楽しんで振り返る。11から15についても、拡大図にあるバナナやミニオンを数えることで、15までの数表現を声に出して言うことに対する興味・関心を高めるようにする。フラッシュカードで言い方を確認した後で、「**How many balls?**」のチャンツや15までの「カウントアップゲーム」に取り組む。

本時(第2時)では、伝えたり聞き取ったりする活動として「ぼく・わたしのモンスター」を描く活動に取り組む。活動1では、チャンツで15までの数表現を振り返る。活動2では、ALTの見せる顔パーツカードをみて、グループに英語で伝えて自分たちのモンスターを描く活動に取り組む。顔パーツを伝達する際には、**How many ~s?** と英語で聞いたり、**5 eyes** と伝えたりする表現も声に出し活動を進めていく。

英語を使った様々な活動を通して、英語で伝えたことが友だちに正しく伝わる嬉しさや、友だちと協力することで一つのものを創り出すことの楽しさを味わわせながら、本校のテーマである「主体的・対話的な深い学びの実現に向けた授業づくり～友達とかかわり、コミュニケーションの楽しさを体験する外国語活動～」のテーマにせまっていくようにしたい。

3. 単元の目標

- 15までの数の表現に慣れ親しむ。
- 15までの数の英語を、積極的に聞き取り、伝えようとする。

4. 評価規準

- 15までの数の表現を聞き取ったり、伝えたりしている。 【慣】
- 15までの数の英語を、積極的に聞き取り、伝えようとしている。 【コ】

5. 指導計画（全2時間）

	○目標      ・主な活動      <>主な言語材料	評価規準
1	<p>○ 15までの数の表現に慣れ親しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ミニオンをさがせ」</li> <li>・ 1から10の英語表現を振り返る。</li> <li>・ チャンツ (How many balls?)</li> <li>・ 15までの英語表現を知る。</li> <li>・ カウントアップゲーム</li> </ul> <p>&lt;one, two..... fifteen&gt;</p>	<p>【慣】 15までの数を聞き取ったり、伝えたりしようとしている。</p> <p>〈行動観察・振り返りカードの点検〉</p>
2 (本時)	<p>○ 15までの数の英語を、積極的に聞き取ったり、伝えようとしたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ チャンツ (How many balls ?)</li> <li>・ 15までの英語表現を振り返る。</li> <li>・ 「ぼく・私のモンスター」</li> </ul> <p>&lt;one, two..... fifteen, eyes, ears, mouth, nose and hair, How many ~s ? &gt;</p>	<p>【コ】 15までの数の英語を、積極的に聞き取り、伝えようとしている。</p> <p>〈行動観察、振り返りカードの点検〉</p>

6. 本時の学習 (2 / 2 時間)

(1) 本時の展開

時間	児童の活動	HRTの活動	ALTの活動	*指導上の留意点 ◎評価の観点〈方法〉 △準備物
導入 5分	○挨拶をする。 TL: Attention, please. C: Yes. TL: Let's start, English. C: Yes, let's start.	・挨拶をする。 Hello. How are you?	・挨拶をする。 Hello. How are you? How's the weather?	* 元気よく挨拶し積極的に学習しようとする雰囲気高める。
	○歌を歌う。 "Head, shoulders, knees and toes."	・児童と一緒に、歌を歌う。		△CD * 顔パーツカードを用い、英語表現を振り返らせる。
展開 35分	【Activity 1】 ・数字カードで15までの数字を声に出して言う。 ○"How many balls?"	・児童と一緒に数字を声に出して言う。  ・電子黒板を使い、チャンツを口ずさむ。	・数字カードで英語表現を繰り返し練習させる。	△電子黒板  * 11~15までを英語のリズムに合わせて復習する。
	【Activity 2】 ○めあてを知る。  ・顔パーツカードを見て、グループに伝えて自分たちのモンスターをかく。  ・出来上がったモンスタ-を発表する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ぼく・わたしのモンスターをかこう。</div> ・デモンストレーションを行う。 ・描かれたモンスターを見て、グループに伝達し、モンスターをかく。 How many ( ) ?      3 ( ) 5eyes      4ears      1mouth      2noses 15hairs  ・描かれた顔パーツの数を確認する。 " How many eyes ? ・グループごとにその場で、発表する。 ・今日の学習から振り返る。		△画用紙 △マジック  【コ】15までの数の英語を、積極的に聞き取り、伝えようとしている。〈行動観察、振り返りカードの点検〉
挨拶 5分	○本時を振り返る。 ○挨拶をする。 TL: Attention, please. C: Yes. TL: Let's finish, English. C: Yes, let's finish.	・本時の感想を聞く。 ・児童の活動でよかったところを具体的に評価する。	・児童の英語や活動について良かったところを評価する。	

(2) 準備物

教師用数字カード、電子黒板、顔パーツカード、画用紙、マジック5セット

3) 板書計画

6 / 20

天気

「ぼく・わたしのモンスター」をかこう。

顔パーツ

モンスター

モンスター

モンスター

モンスター

モンスター

ふりかえり

- ・チャント
- ・めあて
- ・活動1
- ・活動2
- ・ふりかえり

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15

ふりかえりカード / 2年 くみ	
1. えい語で15までの数を聞いてわかる。	  
2. えい語で15までの数を言うことができる。	  
3. わかったこと、気がついたことを書きましょう。	
.....	
.....	
.....	